

## 清掃センターの今後の使用は

**姉帯委員** 老朽化著しい清掃センターを今後どのように使用していくのか。

**農林環境エネルギー課長**

盛岡8市町での共同ごみ処理が令和14年から開始することとなったため、今後10年間使用する必要があることから、施設の延命化を図るための大規模修繕工事を実施するもの。

## 総合窓口システムタッチ申請とは

**遠藤委員** 総合窓口システム及びタッチ申請導入業務を計上しているが、内容は。

**住民会計課長** マイナン

バーカードや運転免許証から申請者の情報を読み取り、氏名や住所を印字

した申請書を発行することができるとシステムで、申請者の手書き作業を大幅に軽減するもの。

## 文化財の予算もっと充実を

**近藤委員** 文化財関係の予算をもっと充実し、歴史や文化の調査を実施しては。

**まなび交流課長** 予算規

模は小さいが新たな事業を実施予定。また、予算のかからない事業も実施している。今後、文化財保護委員と協議し、事業を検討したい。

## 脱炭素への具体的な取り組みは

**辰柳委員** 脱炭素先行地域計画策定への町の方針と具体的な取り組みは。

**副町長** 計画は2030年までにクリーンエネル

## 七滝山村公園の修繕を

**姉帯委員** 8月の大雨災害により大量の土砂が流れ込み被害が著しい七滝山村公園の改修工事の内容について伺う。

**農林環境エネルギー課長**

七滝山村公園の工事は、土砂の撤去、木製橋の修繕、歩道のり面の修復、東屋の修繕の4点となる。



歩道へ土砂が流れ込んだ七滝周辺

令和4年度、階段部分の修繕工事のため480万円予算化していたが、大雨災害が発生したことにより、階段の修繕工事が出来ず繰越事業となった。

このことから、当初予算1870万円と繰り越した事業費と合わせて、七滝山村公園を一体的に修繕工事を実施したい。

## 町の財政の見通しは

**山崎委員** 基金の状況や起債の借り入れ状況など、町の財政の今後の方向性について伺う。

**副町長** 町はこれまで、

大型建設事業に備えて基金を大きく積んできた。これらの基金は、今後役場庁舎Ⅱ期工事への充当地域選定及び水道事業等の元利償還金へ充当するため基金を取り崩すことから、基金は減少する傾向である。葛巻病院の償還金が令和4年度ピークを迎えるが今後は減る。

一方、新庁舎の償還が始まることから、償還が重複しないよう財政運営を行ってきた。大型事業の実施で起債残高が増加、基金残高が減少することは必然であり、現状は想定内である。今後も国庫補助金の有

ギーにより一般家庭及び町内業者等からの二酸化炭素排出量ゼロを目指すもの。現在、環境省の先行地域選定に向け協議中。先行地域へ選定されることにより、国から財政支援が受けられることから、畜産バイオマスプラント事業などを取り入れ、地域に安価な電力を供給できる仕組み作りなどを計画に盛り込みたい。

## 役場庁舎Ⅱ期工事スケジュール

**辰柳委員** 役場庁舎建設事業の財源内訳とⅡ期工事のスケジュールは。

**副町長** 役場庁舎建設事業56億円のうち23億円約42%が国の交付金等で賄うことができ、33億円約58%が公施設整備基金など一般財源で、町の実質負担となる。

## 保育園舎・小学校の遊具整備は

Ⅱ期工事に係る今後のスケジュールは、分署棟は9カ月半、車庫棟は13カ月、大屋根広場は10カ月から11カ月、外構工事は13カ月ほどかかる見込みであり、Ⅱ期工事は最短で1年半要する見込みである。

**近藤委員** 議会で開催したふるさと懇談会において五日市小学校児童から新たな遊具整備の要望が



老朽化著しい五日市小学校の遊具

あった。今後の保育園及び小学校の遊具の整備について伺う。  
**こども教育課長** 令和4年度にすべての保育園と小学校の遊具の点検を実施し、遊具の状況を把握した。修繕し、使用できるものは使用し、危険な遊具は撤去を予定。今後は、令和5年度に全て保育園、小学校から要望を調査し、令和6年度の当初予算に計上できるように進めたい。

## 北部地区水道整備事業の計画は

**柴田委員** 北部地区の水道施設の老朽化の著しい箇所は。

**建設水道課長** 施設は40年以上経過しており、慢性的な漏水などが発生している。二ツ石から小田付近までが特に漏水が著しい。工事に係る期間は6年から7年ほどと見込んでおり、優先順位を検討しながら進めて行く予定。

## 町道下町田子線の改良内容は

**姉帯委員** 町道下町田子線はどのように改良するのか。

**建設水道課長** 役場庁舎Ⅱ期工事と合わせて改良内容を検討していくこととなるが、大きなルートの変更は無い。

## 新たな病院の診療体制は

効活用や交付税措置のある有利な起債の活用 of 徹底など財政の健全化に努める。

**鈴木委員** 新たな診療体制について伺う。

**病院事務局長** 令和4年2月以降、コロナ病床2床設置し、酸素治療ができ中等度の患者を受け入れ、コロナ検査機関の指定を受け検査を実施しており、令和5年度もこの体制を維持したい。

**鈴木委員** 経費節減対策について伺う。

**病院事務局長** 経費の中で電気が著しく増加。前年度比760万円ほど増加した。病院内で節電計画を策定し節電に取り組んだところ、年間240万円、全体の6から8割程度で電気を削減することができた。